

5階東病棟

5階東病棟は、脳神経外科と泌尿器、麻酔科の混合病棟です。脳神経外科では、脳梗塞や脳内出血、くも膜下出血、急性硬膜下血腫、慢性硬膜下血腫、脳腫瘍などの急性期の治療を主に行っています。医師、看護師、薬剤師、栄養士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、ケースワーカー、歯科衛生士、看護補助者が協働し、安全な療養やQOLの向上に向けて支援しています。2018年度からホットラインを開設し、超急性期における脳卒中に対応しています。尿路系のがん疾患の患者さんが多く、手術療法や化学療法、検査についてクリニカルパスを活用し治療を行っています。また、疼痛に対して積極的なコントロールを図り、安楽で安心できる療養を支援しています。麻酔科では、主に帯状疱疹の患者さんに対して治療を行っています。

看護師は2つのチームに分かれて、看護補助者と共にケアを提供しています。チーム活動を通じて、一人一人の患者さんに合わせた、安全で安心できる医療・看護の提供に努めています。また、患者さんやご家族の方の意思決定を大切に、医師や薬剤師、栄養士、リハビリスタッフなどの他職種と協働しながら、再発予防や退院後のよりよい生活に向けて支援します。





摂食嚥下障害認定看護師
佐藤 久美子 主任看護師

♪安全に食べるために♪

脳梗塞や脳内出血により、摂食嚥下障害（食べたり飲んだりする機能の障害）を持つ方が多く入院されています。病棟には摂食嚥下障害看護認定看護師が所属し、言語聴覚士や栄養士と連携して摂食嚥下リハビリテーションを行っています。障害のある患者さんでも安全に美味しい食事をとれるように、食事形態や介助方法の検討を行い、病棟スタッフ間で統一した介助を行っています。また、いつでも食べられる口腔環境を目指して、食事をしていない患者さんにも歯科衛生士と連携しながら、口腔ケアに力を入れています。

五東はなこ様の摂取方法

	30度
	CSスプーン 半分
	お茶ゼリー
	簡易懸濁トロミ
	Ns
その他	食事・嚥下に集中 喉頭挙上の確認



患者さんの状態に合わせた摂食方法
や食事形態を検討しています。



緩和ケア認定認定看護師
瀬川 百合子 主任看護師

2人に1人が「がん」にかかると言われる現在、「がん」による身体の痛みだけでなく、「がん」と診断されたときから、心の痛みを抱えている患者さんご家族の精神的な支援ができるように関わりを持っています。スタッフ間で協力し、体や心の痛みが少しでも楽になるお手伝いができるように、緩和ケアの質を高めていく努力をしています。

▼1年目看護師より



今年の4月に入職し、緊張と不安の中温かい先輩方に囲まれ丁寧にご指導いただきながら一つ一つ業務を覚え日々沢山の学びがあります。

泌尿器科と脳外科の混合病棟であり覚えることも多く、学びと勉強不足だと感じる事がたくさんありますが、患者さんをご家族のために安心安全の看護を提供できるように頑張っていきたいと思えます。

▼2年目看護師より

脳外科と泌尿器科の混合病棟となり、1年が経過し日々多くの事を学びながら楽しく働いています！脳外科の患者さんでは日常生活動作を行う事やコミュニケーションが難しい方が多く入院しています。また、泌尿器科の患者さんでは抗癌剤治療や外科的治療を目的に入院している方が多くいます。ひとりひとりの患者さんに個別性のある看護ができるよう、これからも日々の学びを大切にしながら患者さんと関わってまいります。

